

モニタリングサイト 1000 2008 年繁殖期調査 ー速報ー

モニタリングサイト 1000 は第二期に入り、調査手法も、ラインセンサスからスポットセンサスに変わりました。2008 年繁殖期には森林 42 地点、草原 7 地点について調査を実施いたしました。調査にご協力いただきありがとうございます。

1 調査手法

調査方法が変わりましたが、ほとんどの調査地では適切に実施していただくことができました。スポットセンサス法に変更して初回の調査ということもあり、調査実施

回数不足、調査実施時間帯、調査手法の間違いなどがあり、5 地点、解析に使用できないデータが出てしまいました。今後もスポットセンサス法を普及していきたいと思っております。

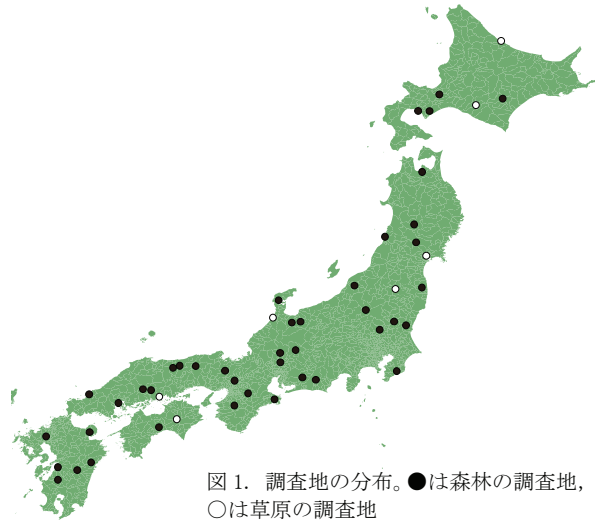


図 1. 調査地の分布。●は森林の調査地，○は草原の調査地

2 記録された鳥類

今回の調査で記録された鳥類の記録率の上位種を表 1, 2 に示しました。森林については、第 1 期の記録率の上位 10 種は、ウグイス、ヒヨドリ、シジュウカラ、キジバト、ハシブトガラス、コゲラ、ホオジロ、ヤマガラ、キビタキ、ホトトギスでしたので、多少順位に入れ替わりはあるものの、平成 19 年度までの第一期の調査結果の傾向と、おおむね一致していました。草原については調査地点数が 7 か所と極めて少ないため、記録率のみを今回は示しました（表 2）。純粋な草原性の鳥よりも林縁性の鳥が上位を占めていました。

表 1. 2008 年の森林の鳥類の記録率と優占率の上位 10 種

種名	記録率	種名	優占率
1 ウグイス	97.6	1 ヒヨドリ	13.7
2 シジュウカラ	95.2	2 ウグイス	8.2
3 ヒヨドリ	88.1	3 メジロ	6.1
4 コゲラ	85.7	4 シジュウカラ	5.6
5 ヤマガラ	81.0	5 エナガ	4.2
5 ハシブトガラス	81.0	6 キビタキ	3.6
7 ホトトギス	78.6	7 ヤマガラ	3.5
7 キビタキ	78.6	8 コゲラ	3.3
7 メジロ	78.6	9 キジバト	3.0
10 キジバト	76.2	9 ホオジロ	3.0
10 オオルリ	76.2	9 オオルリ	3.0

表 2. 2008 年の草原の鳥類の記録率の上位 10 種

種名	記録率
1 ハシブトガラス	100.0
2 アオサギ	85.7
2 トビ	85.7
2 キジバト	85.7
2 カッコウ	85.7
2 ヒバリ	85.7
2 ウグイス	85.7
2 カワラヒワ	85.7
2 ハシボソガラス	85.7
9 ヒヨドリ	71.4
9 スズメ	71.4
9 ムクドリ	71.4

表 3. つづき

調査地点数	北海道	青森県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	高知県	佐賀県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県		
アカハラ	3											1																							
ヤブサメ	4	1	1	1		1	2			1		2	1	2	1	1	1	1			1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
ウグイス	5	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	2	1	
エゾセンニュウ	2																																		
コヨシキリ	1					1							1																						
オオヨシキリ			1		1	1							1											1		1									
コメボソムシクイ	1																																		
メボソムシクイ		1								1										1								1							
エゾムシクイ	2	1	1							1																								1	
センダイムシクイ	5	1	1	1			1			1		1											1		1	1								1	
キクイタダキ										1		1																							
セツカ																									1										
キビタキ	5	1	1	1			1	1			1	2	1	3	1	1		1	1			1	1	1	1	1	2	1		1	1	1	2	1	
オオルリ	3	1	1	1			2		1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2		1		1		1	2	1	
コサメビタキ	1												1																						
サンコウチョウ				1				1		1	1	1	1	1		1	1		1		1			1				1			1		1	1	
エナガ		1	1				2	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1		1		1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	
ハシブトガラ	3																																		
コガラ		1	1						1			1		1							1			1	2									1	
ヒガラ	3	1		1	1		1		1		1	2		2	1		1		1	1	1	1	1	1	1			1						1	
ヤマガラ	1	1	1	1		1	2	1		1	1	2	1	3	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1	1	1	1	2		
シジュウカラ	5	1	1	1	1	1	2	1		1	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1		1	1	1	1	2	1	
ゴジュウカラ	4		1										1		1						1			1	1									2	
キバシリ	2																																		
メジロ	3	1	1	1	1	1	2	1		1	1	2	1	2	1		1	1	1		1		1	1	2	1		1	1	1	1	1	1	1	
ホオジロ	1	1	1	1	1	2	2	1		1	1	2	1	2		1		1	1		1	1	1	3	1	1		1	1	1	1	1	1	1	
ホオアカ	1		1																																
ノジコ				1								1																							
アオジ	6	1									1																								
クロジ									1			1									1														
カワラヒワ	6		1		1	2	1			1	1	1	2	1		1			1		1		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	
マヒワ									1																										
ベニマシコ	2																																		
ウソ									1																										
イカル	4		1	1			1				1	1	1		1		1		1	1	1	1	1	1	2	1	1			1	1		2		
シメ	2																																		
ニュウナイズメ	1																																		
ズメ	2		1		1	1	1	1					1	1		1								1	1	1		1		1		1		1	
コムクドリ	1				1																														
ムクドリ	1		1		1	1							1			1								1											
カケス		1	1	1		1	1		1	1		2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1			1	2	1		
オナガ				1			1						1																						
ホンガラス									1																										
ハシボソガラス	6	1	1		1	2	1				1	1	2	2		1					1		1	2	1				1	1	1	1	1		
ハシブトガラス	6	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1		1	1		1	1	1	1	1	2		1	1	1	1	1	1	1	
コジュケイ							1							2		1				1		1	1						1	1	1	1	1	1	
ガビチョウ						1																											1		
ソウシチョウ							1														1		1												1

3 記録種数の第一期との違い

今回の記録種数の前回との比較を表に示しました。今回の方が記録種数の増えている調査地(▲)がやや多くありましたが(表4)、有意な差はありませんでした(P=0.19)。調査手法検討のための予備調査から、ラインセンサスよりもスポットセンサスの方が記録できる種数が多いことがわかっているため、今回の結果は、ラインからスポットに変わったという調査手法の差かもしれません。

表 4. 第1期の調査と2008年の調査での記録種数の増減

サイト番号	サイト名	第1期	2008	増減	サイト番号	サイト名	第1期	2008	増減
100018	売買川	32	31	▽	100368	西岡水源池	32	29	▽
100049	酒田北部	23	26	▲	100375	(宮島)巖島	23	23	=
100060	茨城県民の森	18	21	▲	100377	川井谷(藤尾川)	18	21	▲
100061	北筑波登山道	18	27	▲	100382	三平峠	10	21	▲
100081	麻綿原	24	20	▽	100384	本山寺	25	23	▽
100093	八尾(猿倉山)	15	24	▲	100398	山内大松川大倉沢	24	28	▲
100095	美女平探鳥コース	27	31	▲	100413	月岡林道	30	29	▽
100098	別所岳	27	25	▽	100424	太平山	18	17	▽
100118	下呂市御厩野*	18	19	▲	100465	下折紙沢	25	29	▲
100125	中山川流域	20	20	=	100468	昼曾根一小畑林道	18	16	▽
100129	新城市庭野	30	27	▽	100490	高鉢山		35	
100143	芋原コース	22	23	▲	100492	行藤山	24	28	▲
100144	岡山県立森林公園	18	22	▲	100496	日向大河内		24	
100198	京丹波町坂井*	18	18	=	100531	鏡ダム	25	24	▽
100212	竜王湖	29	33	▲	100536	奥十首		16	
100227	大小野一大楮間林道	21	21	=	100566	カルルス温泉		31	
100237	妙善坊	24	22	▽					
100255	有珠善光寺	29	26	▽					
100258	氷ノ山坂ノ谷	24	27	▲	草原				
100273	和歌山県高野山	32	28	▽	100020	平取町芽生	29	34	▲
100289	八代市民野鳥の森	25	22	▽	100035	吉田川*	23	28	▲
100294	熊田溜池	21	22	▲	100159	三嶺	4	16	▲
100315	大床谷	20	18	▽	100261	興部	36	31	▽
100323	荒雄岳観光道路	27	27	=	100284	笠岡湾干拓地	22	24	▲
100346	須衛	18	18	=	100334	猪苗代湖北岸	25	19	▽
100351	白山・白川自然休養林	19	20	▲	100403	河北潟干拓地	25	22	▽

▽: 減少, ▲増加, =変化なし

4 植生調査

今回から新たに実施した42地点の森林と、6地点の草原の植生調査の結果を図2、3にまとめました。森林については、比較的、林床や低木層、亜高木層の発達した森林が調査地になっていることがわかります。最近、シカなどの増加で林床や低木層が減っている林も多いことが知られています。今後の調査で、この植生調査の結果と鳥の関係を見ていくことで、そのような変化が鳥にどのような影響を及ぼすのかを知ることができるかもしれません。草原については、4地点のみですが、この調査地については、樹木や耕作地も多く含んだ草原環境であることがわかります。これらについても、将来、樹木の増加など植生変化による鳥類相の変化などが明らかにできることが期待できます。

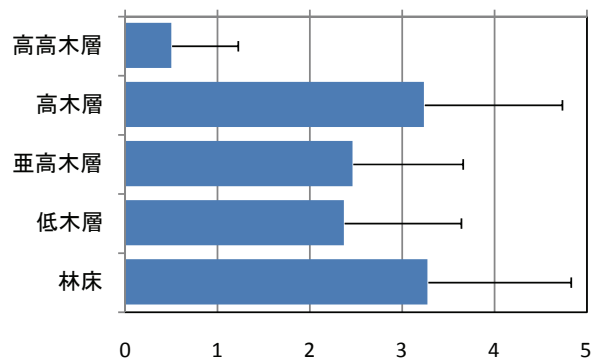


図2. 森林の階層別被度の平均値、被度は0: なし、1: 1~10%、2: 10~25%、3: 25~50%、4: 50~75%、5: 75%以上である。

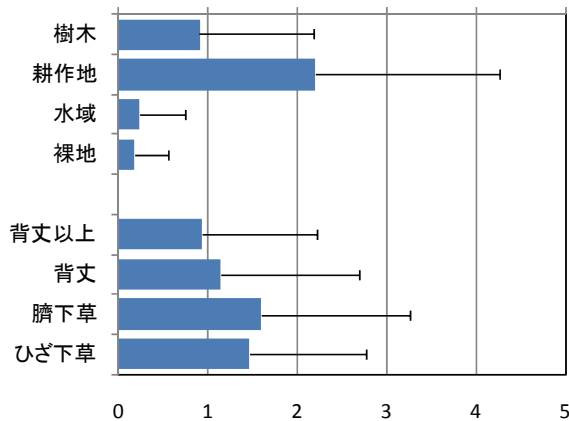


図3. 草原の調査地の被度の平均値, 被度は0:なし, 1:1~10%, 2:10~25%, 3:25~50%, 4:50~75%, 5:75%以上である。

2008年の繁殖期の調査には以下の皆様にご協力いただき、実施することが出来ました。お名前を記し、お礼に代えさせていただきます（敬称略，順不同）。奥野俊博，新田朋子，田中葉子，河藤昌子，岡本良平，後藤修三，伊賀文計，中村圭輔，岩崎健二，成田脩三，成田富美子，辻村正勝，林淳子，吉居瑞穂，高木和夫，伊藤孝夫，小坂里香，竹林康，高木正文，石川喜春，田村元春，田中剛一，田中佐智子，今野怜，今野美和，関根一広，小山朋子，三浦博，土井原文子，又野芳徳，又野淳子，渡辺健三，渡辺喜美恵，皿井信，香西宏明，岩尾建，岩尾淳子，鷺田善幸，市原眞一，森本陽子，森本ひろみ，森本秀樹，荒井浩，稲田菊雄，菊地奈七子，柳田和美，高野茂樹，鈴木晃，中西和夫，福田正淑，福田康子，川崎康弘，川崎里実，渡辺央，平野賢次，平野智江，東條秀徳，小山均，佐藤勝彦，原博，揉井千代子，吉永直好，岩本富雄，江島浩紀，村井敏郎，渡部和子，井上伸之，嶋孝弘，小見山節夫，小宮山邦子，篠原盛雄，田中義和，酒井初江，酒井昌則，岩井清陸，日比野政彦，山田三夫，佐々木均，佐々木あさ子，伊藤恭博，小粥秀治，中西正和，小沢勝美，津田浩，岩田悟，岩切久，児山章二，宮森和浩，杉本守邦，石井省三，小沢勝美，佐久間博文

モニタリングサイト 1000 2008 年繁殖期 森林・草原調査—速報— 2008 年 12 月発行

環境省自然環境局生物多様性センター <http://www.biodic.go.jp/>

財団法人 日本野鳥の会 <http://www.wbsj.org>

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル Tel: 03-5436-2633

特定非営利活動法人 バードリサーチ <http://www.bird-research.jp/>

〒183-0034 府中市住吉町 1-29-9 Tel: 042-401-8661